

## ■目次

### ■平成25年第4回定例会【12月】

議案質疑のあらまし	2~5
請願・陳情、意見書	6
一般質問	7~10

### ■委員会報告

所管の事務を調査	11~12
----------	-------

### ■一般質問のその後

13

### ■議会だよりギャラリー

14



# 下郷町 議会だより

平成26年2月

第 **66** 号



## 宿場町の熱い冬「大内宿雪まつり」

前日に大雪の予報があり、客足の鈍りが心配されましたが、始まってみればこのとおり。

メイン会場の町並み展示館前は、例年と変わらない熱気に包まれていました。(2/8)

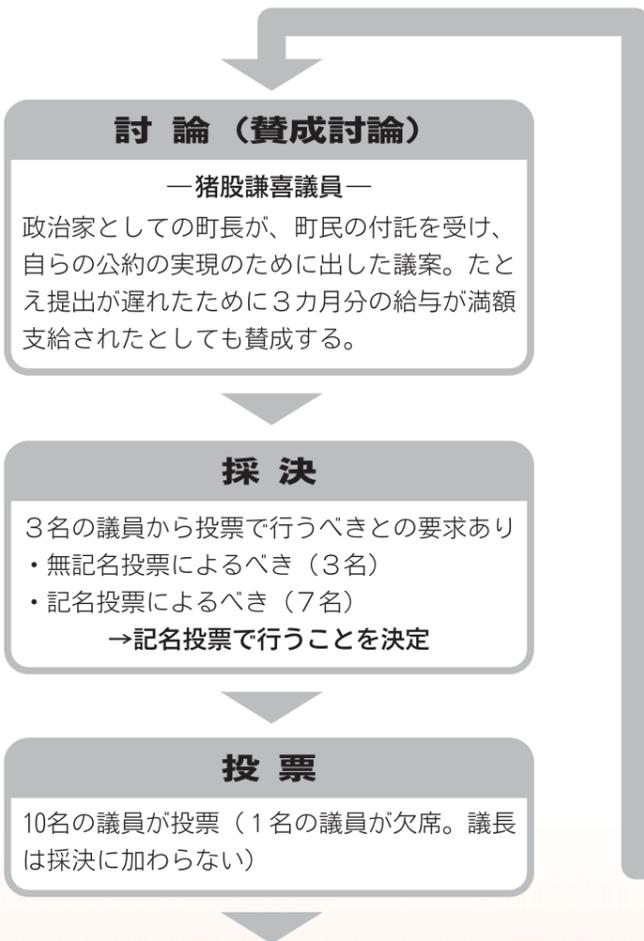
# 町長の公約「町長給与50%削減」議案 賛成多数で可決

12月  
定例会

12月16日から20日にかけて、12月定例会が開かれました。条例の改正や各会計の補正予算及び議員提出議案について審議し、全ての議案を可決しました。

一般質問には4名の議員が登壇し、町の考えをただしました。

## 議案が可決に至るまでの経過



## 議案の説明

平成26年1月1日から、町長の任期満了日である平成29年9月29日までの間、町長の給与と各手当を下表のとおりとする内容。

	改正前	改正後
給与	75万7000円	37万8500円
6月期末手当	121万8770円	60万9385円
12月期末手当	130万5825円	65万2913円
寒冷地手当（1月当たり）	1万7800円	8900円

## 質疑

右ページ（2ページ）のとおり

## 討論（反対討論）

—佐藤盛雄議員—

町長の給与は、職務の重要性や責任の重さ等を考慮して定められており、それを特例条例によって減額する場合は、町政執行に関する過失責任をとるときや財政事情が厳しいときなどが一般的である。現在の町長には何の過失も落ち度もなく、給与は満額もらっていたのが当然と考えるため反対する。

## 開票

星正延	佐藤一美	小玉智和	星嘉明	佐藤盛雄	星政征	猪股謙喜	室井亜男	山田武	星輝夫	佐藤勤	採決結果
○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	可決

表の見方

○=賛成 ×=反対

欠=その日の議会を欠席

棄=その議案の採決を棄権

除=除斥（議案に対し利害関係があるため、審議や採決に加わることができない）

**問** この給与減額は、議員報酬や町職員の給与には波及させないという

**答** 特別職報酬等審議会（町長の諮問があり、諮問する意思はないので）開催しません。

**問** この議案は、10月に開催された臨時会でではなく12月定例会で提出されたために、公約の実現が3カ月遠のいた。なぜ10月の臨時会でこの議案を出さなかったのかと疑問に思っている町民もいる。

**答** 選挙期間中は、臨時会を想定していませんでした。当初から、12月定例会で提案する考えでした。

**問** 給与の減額は子育て支援などの予算に

**答** 選挙期間中は、臨時会を想定していませんでした。当初から、12月定例会で提案する考えでした。

**問** 今回の減額議案は、もとより現在の町長の任期中だけを対象とする内容です。

**答** 自身の任期満了後の新しい町長にも給与減額を求めていく考えはあるか。

**問** 特別職報酬等審議会にかけなくてもいいのか。

**答** 特別職等の給与の減額は考えていません。

**問** この公約には、10月

**答** 特別職報酬等審議会を開催しないわけですから、議員報酬に対する影響はありません。また町職員の給与については、人事院や県人事委員会の勧告等を踏まえながら決定していくべきものと考えています。

**問** 任期が満了する直前に給与を減額したとしても公約違反ではないということにはならないか。

**答** 選挙期間中は、臨時会を想定していませんでした。当初から、12月定例会で提案する考えでした。

**問** 公約の実現のために減額分を充てたいというのが私の考えです。また、県内でも市町村長の給与を自らの提案で減額している例は多数あります。

**答** 公約の実現のために減額分を充てたいというのが私の考えです。また、県内でも市町村長の給与を自らの提案で減額している例は多数あります。

## 町長給与50%削減（町長の給与の特例に関する条例の設定）の質疑

星學町長にとって初めての定例会となる12月定例会において、町長が掲げた選挙公約のひとつである「町長給与50%カット」を実現するための条例案が提出されました。

この議案をめぐる、本町議会では長らく行われてこなかった「討論」が行われるなど、白熱した論戦が展開されました。採決は、議員からの要求により「記名投票」で行われ、賛成多数で可決しました。

## キーワード 「特別職報酬等審議会」

議員報酬や、町長・副町長の給与の額を審議する会議。町長の諮問によって開催され、関係する条例案を町長が提出する際には、事前に同審議会の意見を聴くものとされている。

【町提出議案】

- ▼大川ふるさと公園コミュニティセンター太陽光発電設備等設置工事請負変更契約
- ▼町課設置条例の一部改正
- ▼諸収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正
- ▼町長の給与の特例に関する条例の設定
- ▼教育委員会委員の任命
- ▼一般会計補正予算
- ▼国民健康保険特別会計補正予算
- ▼後期高齢者医療特別会計補正予算
- ▼介護保険特別会計補正予算
- ▼簡易水道事業特別会計補正予算
- ▼農業集落排水事業特別会計補正予算

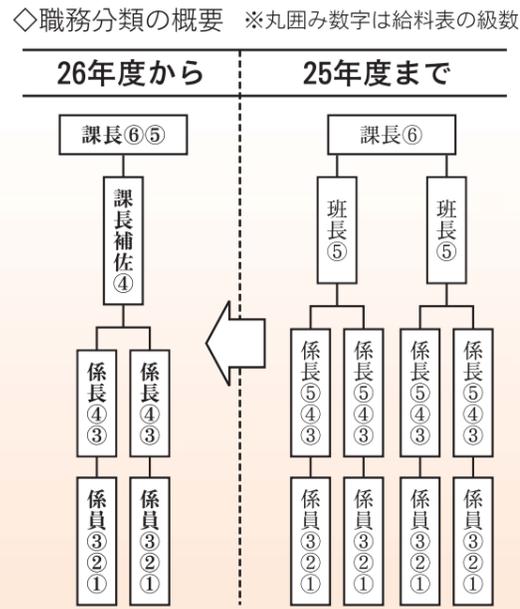
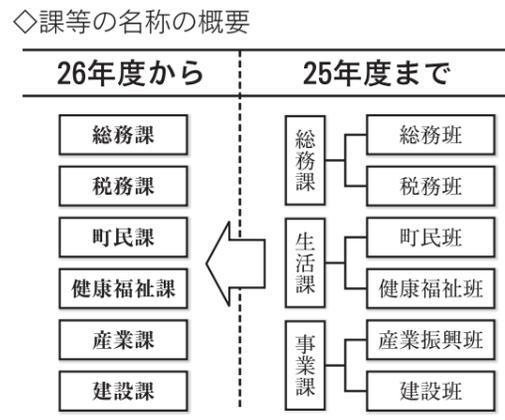
提出された議案

【議員提出議案】

- ▼町議会委員会条例の一部改正
- ▼森林・林業・木材関連産業政策の推進に関する意見書の提出
- ▼東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書の提出

町の行政組織は「3課6班」から「6課」へ新たに「課長補佐」職を設置

「町課設置条例の一部を改正する条例」案が提出され、異議なく可決しました。次年度の4月1日から施行されます。



町課設置条例の一部改正の質疑

**問** 課名等の変更に伴って必要となる、印刷物の新調などの関連経費はどのくらいかかるのか。  
**答** 現在役場で使用している封筒は、新しい課名を印刷したラベルシールを貼って対応するなど、

**問** 課費の削減に努めます。会計管理者は兼務となるのか。また公民館長や江川出張所長など、各施設の所長は置くのか。  
**答** それぞれの施設管理に責任を持たせる観点から、各施設の長は現在と同様にそれぞれ置くようにしたいと考えています。会計管理者については現在税務班長が兼務していますが、この形でよいかどうか十分検討していきたいと思えます。公民館については従来どおりの考え方で。

一般会計補正予算の質疑

人事

◆教育委員会委員

- 玉川邦夫氏（塩生）の
- 盛 義夫氏（倉村） 任命に同意

議員提出議案

議会広報編集特別委員会  
議会広報常任委員会

今まで議会広報の編集を行ってきた「議会広報編集特別委員会」にかわり、新たに3月から「議会広報常任委員会」を設置する条例改正案を可決しました。既存の「総務文教常任委員会」「産業厚生常任委員会」に次ぐ、3つ目の常任委員会となります。

条例で「議員は少なくとも1つの常任委員会に所属する」と規定されており、次回の定例会で、他の2つの常任委員会の中のいずれかと兼任する形で委員が選任される予定です。

平成25年度一般会計補正予算(12月)

歳入の主なもの	
産地生産力強化総合支援事業県補助金の減額	△91万円
国土調査事業県補助金の減額	△301万円
社会資本整備総合交付金事業国庫補助金の減額	△1970万円
歳出の主なもの	
路線バス運行委託料の増額	181万円
国土調査費の地籍測量委託料の減額	△178万円
産地生産力強化総合支援事業補助金の減額	△171万円
大内宿町並み展示館のトイレ改修工事費の減額	△377万円
町道改良工事請負費の減額	△2492万円

**問** 路線バスの運行委託料として毎年行っている多額の補填について、検討しなければならぬ時代にきている。本年度の運行委託料の総額は。  
**答** 約2770万円となっています。町長からも路線バスの見直しについて指示があり、現在見直し作業を行っています。

**問** 産地生産力強化総合支援事業の予算が約半分になったのは、県補助の見送りによることだが、その原因は。  
**答** 米の色彩選別機が補助対象とならなかったためです。国土調査費の減額の原因も、県補助が認められなかったことですが、その理由は、国や県の方針に従い東日本大震災の際の「検証測量」を優先して行っ

**問** 大内宿町並み展示館のトイレ改修工事費減額補正の内訳は。  
**答** 当初トイレ建物の全面改修を予定していましたが、かつて国庫補助事業で増築した倉庫部分の改修が認められなかったためです。

**問** 十文字の町道改良工事（落合十文字線、

**問** 大内宿町並み展示館のトイレ改修工事費減額補正の内訳は。  
**答** 当初トイレ建物の全面改修を予定していましたが、かつて国庫補助事業で増築した倉庫部分の改修が認められなかったためです。

**問** 十文字の町道改良工事（落合十文字線、

**問** 野際線の予算が減額されている。前年からの継続事業だったはずだが、なぜ本年度でできなかったのか。  
**答** 社会資本整備総合交付金事業国庫補助金が他の事業も含んだ総枠で算定されており、除雪重機車庫の建設費を優先したためです。この路線の工事は次年度に実施予定です。



町政

## ここを問う

### 佐藤盛雄議員の 一般質問

#### 請願・陳情3件採択 2件の意見書を提出

下表の3件の請願・陳情を産業厚生常任委員会に付託して審査した結果、いずれも採択されました。また一部の請願については、その趣旨を反映した意見書を内閣総理大臣をはじめとする国務大臣等に提出することを可決しました。

また、福島県町村議会議長会からの要請に基づき、東京電力福島第一原子力発電所の汚染水問題の早期解決を求める意見書を提出することも可決しました。

#### ◇常任委員会における請願・陳情の審査結果

件名	提出者住所氏名	紹介議員	付託した委員会	審査結果
森林・林業・木材関連産業政策の推進に関する請願	会津若松市追手町5-22 森林労連会津森林管理署分会 執行委員長 小島一夫 外1名	佐藤 勤	産業厚生	採択
射撃訓練施設の整備に関する陳情	下郷町大字大内字山本8-1 南会津郡猟友会下郷分会 会長 佐藤幸男	——	産業厚生	採択
鳥獣対策研究室の設置に関する陳情	同上	——	産業厚生	採択

#### ◇提出した意見書の概要

件名	意見書の要旨	意見書の提出先
森林・林業・木材関連産業政策の推進に関する意見書	地球温暖化の進行に伴い、森林が持つ二酸化炭素の吸収・固定という重要な役割に国民の関心と期待が高まる中、林業関連産業は木材価格の伸び悩みなどから厳しい状況にある。よって ①森林の拡大・機能向上のための予算確保、「地球温暖化対策のための税」等の安定的財源の確保 ②民有林の境界確定・路網整備・集約化の促進 ③林業技術者の育成・確保、賃金等の処遇改善などを要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 国土交通大臣 環境大臣 林野庁長官
東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書	東京電力福島第一原子力発電所の汚染水問題に関する状況が悪化の一途をたどっていることから、この問題に対処するための新たな体制を国が前面に立って構築し、責任をもって早急に万全な対策を実施することを強く要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 復興大臣 経済産業大臣

請願・陳情

#### 請願・陳情の 提出について

請願や陳情は、要望などを政治や行政に反映させるための制度です。

#### ●記入事項

- ① 請願書の場合  
・件名及び趣旨  
・提出年月日  
・請願者の住所氏名・押印  
・紹介議員の署名
- ② 陳情書の場合  
・件名及び趣旨  
・提出年月日  
・陳情者の住所氏名・押印  
・陳情者のうちの一人は町内に住所を有する者であることを要します

#### ●提出方法

- ① 請願書の場合  
郵送または持参提出
- ② 陳情書の場合  
必ず持参提出のこと(郵送では受付できません)

#### ●提出先・問い合わせ

議会事務局(町役場3階)  
TEL 69-11123

#### 質問

### 町長給与50%減の公約は邪道

#### 答 公約どおり減額を実施したい

**問** 選挙公約で町長給与の減額を争点にするのは、政策ではなく選挙のテクニックであり、邪道であると考えます。仮に減額しても30%が限度ではないか。

**答** 50%という削減率の根拠は、また実際に給与が半額となった場合、所得税、町民税、健康保険税、共済費等の月額と、それらを差し引いた月給の手取り額はいくらか。退職金まで含めた現任期中の給与減額の総額はどの程度か。

平成23年2月の新聞報道によると、県内59市町村中47市町村が減額を行っており、うち5つが50%の減額をしています。公約のとおり実施したいと考えています。

#### 質問

### 企業立地団地計画の概要は

#### 答 できるだけ早く示したい

**問** 町長の公約に企業立地団地計画の推進が打ち出されているが、企業立地の内容、時期、場所、規模、財政的な裏付けについてどのように考えているのか。またその戦略は。

**答** 候補地や規模については現在お答えできませんが、できる限り早く団地の造成計画を示したいと考えています。過剰な投資とならないよう長期計画に立って進めていきます。

#### 質問

### 健全財政維持に対する考えは

#### 答 効率的な財政運営に努める

**問** 町長の公約実現にはかなりの財政出動が必要と思われる。今後健全財政を堅持していく考えはあるか。また公約実現のための過疎地域自立促進計画の変更は考えているか。

**答** 町長の公約実現には、過疎債の活用など、効率的な財政運営に努めていきます。雇用促進住宅や消防救急通信デジタル化事業負担金については過疎債を活用したく、3月定例会で過疎地域自立促進計画の変更にかかる議案を提出する予定です。



町政

## ここを問う

### 猪股謙喜議員の 一般質問

**問** 副町長を退職してから6年、町長就任から2カ月半がたった今、町長が現在の町の財政状況を見た感想を伺う。

**答** 私が副町長であった平成19年度当時と現在の財政状況を比較しますと、各種財政指標の指数や財政調整基金の額など、多くの面で改善されていると感じます。特に財政調整基金に関しては、平成19年度との比較で約10億円も増えていることに驚いているところです。

反面、固定資産税の償却資産分の減収等によって財政力指数が低下するなど、今後の財政運営を考えると厳しい状況にあることも認識しています。

これからも自主財源を確保し、健全財政の維持に努めていきたいと思えます。

**問** 11月5日付の新聞報道で、自民党税制調査会が固定資産税の償却資産分を見直す、つまり廃止を本格議論すると報道されたが、このことについて町長はどう感じ、職員どのような話をしたか。また町村会ではこの件についてどのような話し合いがあったか。

**答** この報道のとおり償却資産分の課税が廃止されれば、本町では総額の58%にあたる6億6千万円の収入が失われることになり、財政面での影響は甚大なものになります。職員に対しては、今後の情報収集に努めるとともに、次年度予算編成に際しては投資対効果を吟味するよう

指示しています。また町村会では、県町村議会議員会とともに償却資産への課税維持を要請しています。今後も国会議員への働きかけを強めていきます。



キーワード

#### 「償却資産の課税」

主に土地や家屋以外の事業用資産のことを償却資産という。これに課税される固定資産税（特に大川ダムに関連する電源開発株からの税）は、本町の税収中かなりの割合を占めている。

## ここを問う

### 星輝夫議員の 一般質問



質問

**町ふれあいセンターの利用は上履き着用に戻すべき**

**答** 的確な管理のもと、今後も下足利用とする

**問** 町ふれあいセンターが開館して以来、入場の際にはスリッパなどの上履きに履き替えて入館していたが、今年度からは下足のまま入館することとなった。しかし、同センターの床材は下足の利用には適さないと思う。このまま冬を越してしまうと元には戻らない。以前のように入場の際には上履き着用にしたいと思うが、どう考えているか。

**答** 町ふれあいセンターの床は、当初から下足で使用する設計となっていました。建設当時はまだ新しかったため、上履きに履き替えることとしていました。建築後17年が経過し、履き替えが大変だという利用者の声もあることから、当初の設計どおり下足のままでの利用としたものと考えています。

1階の床の一部には水に弱い個所も見受けられますが、床の管理を的確に行いながら、利用する方の利便性に配慮し、今後も引き続き下足の利用としていきます。

質問

**移転後の公民館の事業実施に支障はないか**

**答** 講座等は予定どおり実施

**問** 公民館建物の解体に伴い、公民館の機能が町ふれあいセンター内に移転したが、事業運営に少なからず支障があると耳にした。今後の公民館活動をどう考えるのか、館の新築等の考えとあわせて伺う。

**答** 公民館の講座等は、公民館機能の移転後もすべて予定どおり実施されています。場所が変わっても講座数や学級数が減るようなことはありません。新しい公民館の建設については、前町長が一般質問で「移転後の利用状況を見ながら対応したい」と答弁していたことから、各講座の代表者や学識経験者等で構成する審議会を組織し、3月上旬までに結論を得るよう教育長が指示していますので、その結果を踏まえた上で、財政事情等も考慮して判断します。



上) 解体される旧公民館建物  
下) 現在の公民館事務室

質問

**町の財政状況に関する感想は**

**答** 多くの面で改善されている

**問** 副町長を退職してから6年、町長就任から2カ月半がたった今、町長が現在の町の財政状況を見た感想を伺う。

**答** 私が副町長であった平成19年度当時と現在の財政状況を比較しますと、各種財政指標の指数や財政調整基金の額など、多くの面で改善されていると感じます。特に財政調整基金に関しては、平成19年度との比較で約10億円も増えていることに驚いているところです。

質問

**町長選挙時のスローガンの意味するところは**

**答** 政策の3本柱と8つの公約がその意味を体現している

**問** 町長選挙において町長は、スローガンとして「新しい風 流れを変えろ」というメッセージを

有権者に訴えていたが、新しい風とは何を意味するのか。また変えなければいけない流れとは何か。

**答** 政策の3本柱「地域力のある町」「安全・安心・健康で暮らせる住みよい町」「思いやりのある教育と文化の町」と、8つの公約の実現こそがこのスローガンの意味するところであり、これらの実現に向かって進んでいきます。

質問

**償却資産の課税見直しの議論に対する感想は**

**答** 町財政への影響は甚大 課税堅持を強く働きかける

**問** 11月5日付の新聞報道で、自民党税制調査会が固定資産税の償却資産分を見直す、つまり廃止を本格議論すると報道されたが、このことについて町長はどう感じ、職員どのような話をしたか。また町村会ではこの件についてどのような話し合いがあったか。

**答** この報道のとおり償却資産分の課税が廃止されれば、本町では総額の58%にあたる6億6千万円の収入が失われることになり、財政面での影響は甚大なものになります。職員に対しては、今後の情報収集に努めるとともに、次年度予算編成に際しては投資対効果を吟味するよう

指示しています。また町村会では、県町村議会議員会とともに償却資産への課税維持を要請しています。今後も国会議員への働きかけを強めていきます。

総務  
文教

誘致企業や中学校の耐震補強工事など、  
所管の事務を調査

総務文教常任委員会では、10月18日、除雪用重機の車庫新設工事や、下郷中学校の校舎及び体育館の耐震補強工事など、所管する事務の調査を行いました。

**◇パークゴルフ場整備工事**  
大川ふるさと公園に建設中のパークゴルフ場の施工状況を確認しました。将来的に全18ホールの全国パークゴルフ協会公認コースとする予定ですが、林地開発の規制から、本年度は9ホール分の施工となっています。



コミセンの工事現場を確認



(株)日本アレフが建設中の新工場内部

校舎及び体育館の耐震工事の施工状況を確認しました。着工が2学期開始後と



校舎中庭の耐震補強工事状況

町から会津鉄道(株)への補助金により、和式トイレを減らして洋式トイレを増設し、女子トイレの一つを車椅子対応とするなどの改修内容が説明されました。

意見・提言等

○コミュニティセンターの太陽光発電のような再生可能エネルギーのしくみを子どもたちにわかりやすく見せる工夫が必要では。

町政

ここを問う

室井亜男議員の  
一般質問



質問

町長の8つの公約を質す

それぞれの公約の実現のため  
様々な角度から検討中

出さなかったのか。10月と11月に減額していない給与をもらったのは、公約を守っていないことになるのではないか。

答

①次年度の新1年生

は旭田小学校11名、榎原小学校17名、江川小学校9名です。現在県内で入学祝金を支給しているのは柳津町、平田村、大熊町の3町村です。

②現在検討中なのは、原則福祉施設入所者を除く70歳以上の方に、町内タクシー会社で利用できる500円分のタクシー助成券20枚つづり、1冊1万円分を申請により交付するという内容です。医院の無料送迎バスの運行を損なうものではないと考えます。

③現在検討中ですが、貸付の内容とともに、農林業機械等の購入に対する利子補給や保証も視野に入れて検討しています。

④学校給食法の規定は、保護者に給食費の負担義務を

課したのではなく、自治体が給食費への補助をすることを妨げるものでもないという文部科学省の法解釈があります。

⑤手数料の率は町物産館が15%、道の駅が18%、ヤオコーが41%。本年4月から11月までの農産物販売額は物産館が1505万円、道の駅が3665万円です。

⑥現状では決定していません。今後地区住民や議会の意見を聴きながら検討していきたいと思っています。

⑦現状では決定していません。水利や排水環境、用地取得条件や交通の利便性を勘案し、売れ残り区画が生じないように決定していきたいと思っています。誘致活動は前町長のノウハウを生かして進めていきます。

⑧選挙期間中は臨時会の開会は想定しておらず、任期開始後の最初の定例会で提案すると考えていました。公約違反とは考えていません。

⑨9月に完成した、町並み展示館裏のトイレの増設状況を確認しました。

⑩建物外観の修景1件、土蔵の外壁修理1件、茅屋根の葺き替え1件の実施状況を確認しました。

⑪湯野上温泉駅トイレ改修工事

町並み展示館裏のトイレの増設状況を

確認しました。

⑫下郷中学校校舎・体育館耐震補強工事

町並み展示館裏のトイレの増設状況を

確認しました。

⑬湯野上温泉駅トイレ改修工事

町並み展示館裏のトイレの増設状況を

確認しました。

質問

スーパープレミアム商品券を  
次年度も実施するか

答弁  
次年度も実施したい

私が一般質問で提案

し、本年度に初めて販売された「スーパープレミアム商品券」を、次年度も実施する考えは。また他町村の方や観光客にも売る

考えはあるか。

答

次年度も本年度に続き実施したいと考えています。他町村の方や観光客も購入できる仕組みを取り入れたいと思います。

◇コミュニティセンター

太陽光発電設備設置工事

大規模災害時の避難場所になったときの非常電源用としてコミュニティセンターの屋根に設置する、太陽光発電設備の施工状況を確認しました。

◇企業誘致インフラ整備事業(株)コトブキ

沢田字赤岩に建築中の新工場敷地と県道を結ぶ道路の新規開設に関する説明を受けました。同社は公園の遊具やベンチなどを製造販売する会社で、東京オリンピックに伴う需要増での成長が期待されています。

◇企業誘致インフラ整備事業(株)日本アレフ会津工場

センサユニットなどを製造する同社が、県の「ふくしま産業復興企業立地補助金」を受けて増築中の工場建屋を見学しました。

◇重機車庫新築工事

旧役場前に新たに特別養護老人ホームが建設されることに伴って解体された除雪重機車庫にかわり、新たに旧ごみ処理センター敷地(塩生)に建設される車庫の工事現場で説明を受けました。重機など13台を格納する大規模な車庫で、停電時を考慮しシャッターは手動開閉としたことなどについて説明がありました。

◇下郷中学校校舎・体育館耐震補強工事

町並み展示館裏のトイレの増設状況を

確認しました。

⑭湯野上温泉駅トイレ改修工事

町並み展示館裏のトイレの増設状況を

産業  
厚生

特別養護老人ホーム建設予定地や鳥獣被害対策状況など、所管の事務を調査

産業厚生常任委員会では、11月7日、特別養護老人ホーム建設予定地や、鳥獣被害対策の状況、プレミアム商品券発行の概要など、所管する事務の調査を行いました。

◇**自家消費食品等放射線物質スクリーニング検査**  
500グラムの検体で検査できる機器（以前は1キログラムが必要）の導入状況を確認しました。

◇**特別養護老人ホーム建設予定地**  
会津若松市の特定医療法人「明智会」が、旧役場及び公民館の跡地に建設する特別養護老人ホームの事業概要について、明智会職員から説明を受けました。  
平成26年1月から着工の予定で、ヘルパーや事務職など68名の雇用を予定しているとのことです。

◇**（株）香精（音金）**  
町内立地企業の経営状況や町への要望等を把握するため、（株）香精を訪問させていただきました。  
同社では漬物の製造・販売を行っており、旧南小学校跡地に県の補助金を活用して建設した新工場で、平成25年1月から操業しています。



更地となった特老ホーム建設予定地。かつては旧役場や公民館、除雪重機車庫、防雪センターなどが存在していた

◇**鳥獣被害状況及び対策事業**  
町補助金を活用して鳥獣被害対策を実施した落合地区・音金地区の事業実施状況を確認しました。  
田の周囲に4〜5段の電気柵を巡らすことで被害を防ぐことができたとの説明を受けました。

◇**しもごう保育所・子育て支援センター**  
運営状況について説明を受けました。  
玄関脇や2階遊戯室の天井などにみられる雨漏りは平成26年度に改修する予定とのことです。

◇**地域振興プレミアム商品券発行事業補助**  
町商工会事務局から事業内容の説明を受けました。  
町内の小売店や飲食店、宿泊施設、建設業など185店舗の加盟で本年度初めて実施され、全商品を完売し好評であったとの報告がありました。  
今後の課題として、1カ

月1回の換金では資金繰りに支障がでるため最低でも2回とすべきこと、加盟事業者が払う換金手数料は一律1%でできないか検討すべきことなどが挙げられました。

**その他の調査箇所**

- ◇**放課後児童クラブ運営状況**
- ◇**パークゴルフ場整備工事**
- ◇**重機車庫新築工事**
- ◇**湯野上温泉駅トイレ改修工事**

**意見・提言等**

○新設される特別養護老人ホームの入所に伴う概算費用はやや高額であり、町民には軽減措置を検討すべきでは。  
○パークゴルフ場は18ホールの公認コースでない誘客につながる。次年度も工事費を計上して、18ホールの公認コースとすべきでは。

一般質問のその後

あの質問はどうなった？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を毎号掲載しています。その質問での提案が、その後どのように町政に反映されたかを追跡調査しました。

質問

南会津町や会津若松市では、景気浮揚策として10%から20%分割り増しの商品券を発行している。本町でも、20%分割り増しのプレミアム付き商品券を、本町に本社を置いているすべての業者で幅広く使える形で発行すべきだ。

答弁

町内限定版の商品券にプレミアムを付けることで、果たして町民の購買意欲の喚起につながるのかが気になる。発行したとしても、期待される効果が発揮されるかどうか判断に迷うところだが、商工会などと検討する。  
(平成23年6月定例会答)

その後…

◇下郷町スーパープレミアム商品券の概要

商品券の種類	販売単位	販売金額 A	プレミアム※1 B	販売数 C	総発行額	
					(A+B)×C	うち町補助金分 B×C
地元券 (大型店を除くすべての加盟店で利用可)	1000円券× 12枚つづり (1万2000円分)	1万円	2000円	3000冊	3600万円	600万円
共通券 (大型店を含むすべての加盟店で利用可)	500円券× 22枚つづり (1万1000円分)	1万円	1000円	1000冊	1100万円	100万円
観光券 (観光客が宿泊施設・お土産店等で利用可)	1000円券× 12枚つづり (1万2000円分)	1万円	2000円	1000冊	1200万円	200万円
計					5900万円	900万円※2

※1 町からの補助金で賄われている  
※2 このほかに、事務費として100万円を補助している

平成25年6月に、町からの1千万円の補助により、町商工会から「下郷町スーパープレミアム商品券」が発売され、すべての券を好評のうちに完売しました。

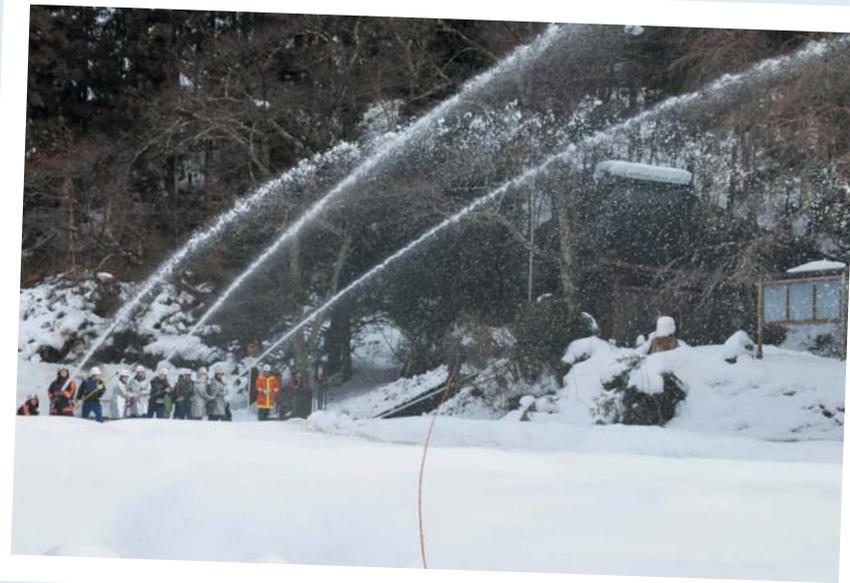
12月7日

## しもごう保育所

### 生活発表会

～しもごう保育所

落語の古典「寿限無」(じゅげむ)にチャレンジした、にじ組(4歳児)のみなさん。かの有名な「長～い名前」を全員で見事に暗唱し終えたとき、観客席からは歓声とともにひときわ大きな拍手が巻き起こりました。



1月26日

## 文化財防火訓練

～中ノ沢観音堂(中妻)

文化財防火デーのこの日、国指定重要文化財の観音堂で文化財防火訓練が行われました。地元の第1分団7部中妻班を中心とする参加者たちは、寒風吹きすさぶ中きびきびとした動作を見せ、地域の宝を火災から守る決意を新たにしていきました。

## 議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。  
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

### 議会広報編集特別委員会

委員長 佐藤 盛雄  
副委員長 猪股 謙喜  
委員 小玉 智和  
委員 佐藤 勤

2月4日の立春を過ぎても、なぜか週末になると大雪に襲われます。8日の「大内宿雪まつり」は予報どおりの大雪で幕を開けましたが、多くの観光客が甘酒等の温かい「おもてなし」と、雪化粧した茅葺きの家並みを楽しみました▼翌週の15・16日の豪雪では、町内の主要な国道が次々と通行止めになり、そのせいで冬の名物イベント「なかやま雪月火」は中止となっ  
てしまいました。来年は好天に恵まれることを今から祈っています。(佐藤勤)

編集  
後記